

活動報告

<p>団体名</p>	<p>一般社団法人 NATURE & HUMANS JAPAN</p>
<p>活動名</p>	<p>被災した障害者・社会的弱者・高齢者のエンパワーメント</p>
<p>活動期間</p>	<p>2018年7月～2018年10月</p>
<p>活動の成果</p>	<p>西予市内 愛媛県内 熊本県のNPO団体などと、連携し、被災した障害者・社会的弱者と、これらの団体との橋渡し・コーディネイトを中心に行った。復興のプロセスとして、西予市内 愛媛県内 熊本被災者当事者団体・支援団体のネットワーク作り・エンパワーメントを通じて、被災者のエンパワーメントを長期的に支える地元ネットワークを構築できた。特に500名の高齢者などの農家を取りまとめ、また障害者就労支援を実施して来た 西予市野村町の百姓百品・アグリビジネスと障害者支援団体レインボーアグリとの協働を核に、地元団体が、独自に活動していきことができるよう、エンパワーメントできた。またそれぞれの団体が、自力で助成金申請や事業運営ができるようになるように、エンパワーした。</p> <p>またオープンジャパンなどの災害支援の優れた団体との協働により、より多くのボランティアが、百姓百品を支援し、百姓百品が野村町の復興の要の存在として、今までのネットワークを強化・拡大し、野村町全体を元気づけていける場所となる様に、復興のシェア オフィス機能を持たせることに協力し、連携団体がカフェを実施している。</p>
<p>寄付者へのメッセージ</p>	<p>肱川の氾濫により、その後も、店舗浸水により先の見えないまま休業せざるを得ませんでした。</p> <p>心身の疲れ、うだるような暑さの中での店内の清掃作業。 私たちスタッフは途方にくれるしかありませんでした。</p> <p>しかし、続々と集まっていく支援物資。ボランティアの方々の協力。 7月末には店内も見違えるように綺麗になり、再開への兆しが見えてきました。 私たち百姓百品は、皆様のご支援のおかげで、ここまで元どおりに近づくことができました。</p> <p>決して、従業員だけではできなかったことばかりです。 お弁当、ないん？ ここのお弁当美味しいけん待ちよるけんね。 店舗の冷蔵庫が水没により全滅してしまったため、販売できなくなってしまったお弁当を心待ちにしてくださった野村店のお客さま。 皆さまのおかげで、 『よっしゃ、もうちょっと頑張ろう』 『待ちよってくれる人がおるけんね』と 何度勇気付けられたかわかりません。 まだ今まで通り、とまではいきませんが、 より良いお店を作っていこうと一同頑張っているところです。 たくさんのご支援、励ましのお言葉ありがとうございました！ どうぞ皆さま、百姓百品をよろしくお願いします。</p>

(活動のようす)

